



漢陽大学工学部及び

ブレイン코리아21機械工学科



大韓民国

College of Engineering, Brain Korea 21 Division in Mechanical Engineering, Hanyang University

●学部学生 25,000人 ●大学院生 10,000人 ●教職員 6,500人

ホームページ <http://www.hanyang.ac.kr/>

交流協定締結年月日：2010年4月14日 主管学部：創造工学部



▲漢陽大学の調印式が行われた建物



▲漢陽大学での調印式の記念写真

国際交流の特色

漢陽大学は、ソウル特別市城東区に本部を置き、韓国最大のインチョン空港から車で約1時間のところに位置している。ソウルキャンパスの他に、ANSANキャンパスもある。韓国で最も著名な私立大学のひとつで、特に工学系は国内最高峰と定評がある。サムスン等の韓国の大企業のトップや政府高官には、漢陽大学出身者が多い。漢陽大学は、非常に活発に国際交流を展開しており、海外の協定校の数は、200校を超える。アメリカでは51校、中国では55校、日本でも東京大学等37校と協定を締結している。現在、42カ国から1500名の留学生がおり、日本人留学生も約200名在学している。

交流実績（平成29年度～31年度）

年度	H29	H30	H31
受入・派遣			
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	1	0
研究者・職員の派遣	0	0	0



平成22年11月開催レクチャーの様子

教員からの声

今、韓国では最適化関連の研究が非常に盛んに行われています。漢陽大学はその中核をなす大学であり、その研究成果をPlaNOという汎用最適化ソフトとして売り出すなど、応用面でのリーダーのような存在です。2011年10月には漢陽大学に学生2名と赴き、最適化に関する共同のワークショップを開催しました。双方の学生を中心に十数名が参加するもので、D. H. Choi 教授の研究室で行われている最新の最適化の適用情報を提供して頂きました。香川大学としてはGAやRBFの研究の紹介、そして2名の学生の卒論の内容を基にした最新の研究状況の紹介を致しました。

創造工学部 教授 荒川雅生

学生からの声

2011年10月に漢陽大学で行われる最適化に関する共同のワークショップに参加し、最新の最適化研究の情報を提供していただき、有意義な時間を過ごすことができました。漢陽大学の学生とうまくコミュニケーションをとれるかどうか不安でしたが、英語もあまりできない私たちに対して親しく接していただき、また十分すぎるほどの手厚いおもてなしを受けて、こちらが恐縮してしまうほどでした。今後、漢陽大学の学生が工学部を訪問することがあれば、私たちの受けたおもてなしのお返しをしたいと思うし、そうしたいと思わせてくれる人たちと交流できたことをうれしく思います。

澤井 一樹